

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

令和2年度 第2回 幹事会

開催日時

令和2年9月28日(月) 14:30~15:30

参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課・健康づくり支援課、中野市福祉課、飯山市保健福祉課、山ノ内町健康福祉課、木島平村民生課、野沢温泉村民生課、栄村民生課、高水福祉会、北信圏域障害者総合相談支援センター

本日のテーマ、課題等

- ①相談支援専門員からの活動報告
- ②第2回自立支援協議会について
- ③障害福祉計画について
- ④地域生活支援拠点等事業の取り組みについて

会議で話し合われた事

①相談支援専門員からの活動報告(4~9月の活動より)

○新型コロナウイルスの影響

- ・乳幼児健診や療育教室が延期になることが多かった。健診等が再開されてから、健診後フォロー教室への登録者増加が早く、多くの家庭が外部の資源を求めている印象を受けている。また保育園幼稚園訪問については、カンファレンスをリモートでも実施した。
- ・就業支援においても、圏域内では会社都合による雇止めが2件あった。
- ・特に一人暮らしの方を中心に、定期的に安否確認や生活への影響がないか等の確認を電話や訪問を実施している。一人暮らしの方は社会とのつながりが希薄だったり、SOSを出しづらかったりすることが確認できた。今後、民生児童委員や地域包括支援センター等との連携がより重要になると感じている。

○地域課題に対する取り組み

- ・基幹相談と地域あんしんコーディネーターで、木島平村・野沢温泉村の民生児童委員の研修会に参加。障害福祉の現状をお伝えし、「80・50」等、地域の気になるケースについて連携をとっていけるようお願いした。
- ・相談支援専門員と市町村担当者との情報交換会を8月に実施。GH等居住の場を必要とする声が多いことや、将来を見据えて一人暮らしの体験ができる場の必要性、災害時の心配等が共有された。今後の地域の整備につなげていきたい。

②第2回自立支援協議会について

【開催方法】案1:縮小開催、案2:書面開催、案3:WEB開催

顔をつないでネットワークを作ることが目的なので、一堂に会する方法が適切と判断し、案1の方法で実施することに。

※開催日程 11/9(月)または13(金)の10~11時(会場含め後日確定する)

※内容 ①各部会の上半期活動報告 ②第5期障害福祉計画の評価と第6期障害福祉計画作成について

③障害福祉計画について(市町村課題検討WGより、進捗の報告)

- ・9/18、相談支援体制機能強化会議にて厚労省の専門官からも説明あり、まずは第5期の振り返り・評価が重要であることが示された。
- ・第6期障害福祉計画の作成については、コロナ禍ではあるが、長野県としては今年度中に作成する方針となっている。
- ・現実に沿った地に足のついた計画になるよう、振り返り・評価をしっかりと行っていく。圏域としてのプラン作成については、市町村課題検討WGで情報交換していく。

④地域生活支援拠点等事業の取り組みについて(地域生活支援拠点等事業検討会より)

来年度に向け、「体験の機会・場」の機能の整備として、一人暮らしの体験事業を検討している。松本圏域で今年度スタートした体験事業を参考に、北信圏域でも事業の検討を進めたい。現在想定しているのは、アパートの一室を体験用として確保し、対象者は入院・入所している方、家族と同居している方等、現に一人暮らしではない方、と考えている。まずはどの位ニーズがあるか、相談支援専門員、保健師等に10月中にアンケート調査を実施する。